

平成30年度 全国学力・学習状況調査の分析結果について

初秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解・ご協力賜り、誠にありがとうございます。

さて、過日、文部科学省より、4月17日（火）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の富士松東小学校としての調査結果が届きました。下記のとおり結果の概要をお知らせします。なお、個人票については、担任からお子様へお渡しします。個人票と合わせて、今後のお子様への指導の参考にしていただきたいと思います。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および愛知県教育委員会は、結果の公表について「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえると共に、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮する」という方針をとっています。本校もその方針に基づいて、概要を報告させていただきます。

2 本校（6年生）の結果の概要

国語 A 主として知識	<ul style="list-style-type: none"> 伸ばしたい点がある。 観点別では、「話す・聞く能力」に課題がある。 今後は、相手や場面に応じて適切に敬語を使ったり、主語と述語の関係などに注意して文を正しく書いたりする力を伸ばしたい。
国語 B 主として活用	<ul style="list-style-type: none"> 伸ばしたい点がある。 観点別では「話す・聞く能力」に課題がある。 今後は、計画的に話し合うために司会の役割を捉えたり、話し手の意図を考えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめたりする力を伸ばしたい。
算数 A 主として知識	<ul style="list-style-type: none"> おおむね満足できる状況であるが、伸ばしたい点がある。 領域別では、「図形」が高く、「数と計算」に課題がある。 今後は、整数や小数の数量の関係や小数の除法の意味を理解する力を伸ばしたい。
算数 B 主として活用	<ul style="list-style-type: none"> 満足できる状況である。 領域別では、「量と測定」「図形」が高い。 特に、示された考え方を解釈し、それを基に数値を整理したり、条件に合う数量を判断したりする力が高い。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 伸ばしたい点がある。 観点別では「自然事象についての知識・理解」に課題がある。 今後は、人体のつくりや流れる水の働きにおける科学的な言葉や概念を理解する力と、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述する力を伸ばしたい。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 学校のきまりや友達との約束を守ろうとする児童が多い。 毎日同じくらいの時刻に寝起きしている児童が少ない。 地域の行事に参加し、社会や自然の事柄に関心を持ち、地域や社会をよくするために何をすべきか考えることができるようにしたい。 算数や理科の学習内容を普段の生活の中で活用しようとする児童が少ない。 家庭学習の時間を伸ばし、自分で計画を立てて予習・復習に取り組めるようにしたい。

*全国平均に比べ無回答率が低く、前向きに取り組もうとする児童の様子があがかわれる。

3 その他

個人票の見方について質問がありましたら、担任までご相談ください。